

平成31年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年3月4日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 大西 章三

TEL 0568-23-3111

四半期報告書提出予定日 平成31年3月15日

配当支払開始予定日

平成31年4月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年7月期第2四半期の連結業績(平成30年8月1日～平成31年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年7月期第2四半期	3,848	21.7	361	471.5	363	450.2	251	440.7
30年7月期第2四半期	3,163	15.9	63	68.5	66	67.5	46	60.8

(注) 包括利益 31年7月期第2四半期 244百万円 (355.7%) 30年7月期第2四半期 53百万円 (57.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年7月期第2四半期	142.53	
30年7月期第2四半期	26.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年7月期第2四半期	7,955	3,759	47.3
30年7月期	8,192	3,557	43.4

(参考) 自己資本 31年7月期第2四半期 3,759百万円 30年7月期 3,557百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年7月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年7月期		20.00		24.00	44.00
31年7月期		25.00			
31年7月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年7月期の連結業績予想(平成30年8月1日～平成31年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	16.9	596	60.2	600	59.3	420	61.3	237.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年7月期2Q	1,798,800 株	30年7月期	1,798,800 株
期末自己株式数	31年7月期2Q	32,671 株	30年7月期	32,669 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年7月期2Q	1,766,129 株	30年7月期2Q	1,777,331 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化、生産力の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、包装機械事業・生産機械事業ともに好調に推移した結果、前年同期に比べ685百万円の増収となりました。利益につきましては、包装機械事業における売上総利益率の改善に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ大幅な増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,848百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益は361百万円（前年同期比471.5%増）、経常利益は363百万円（前年同期比450.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は251百万円（前年同期比440.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(包装機械事業)

海外市場での給袋自動包装機の販売台数の増加及び国内市場での製袋自動包装機の販売台数の増加により、売上高は3,017百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、売上総利益率の改善に伴い、営業利益は310百万円（前年同期比421.3%増）となりました。

(生産機械事業)

大型プラント案件の販売実績の増加に伴い、売上高は831百万円（前年同期比92.7%増）、営業利益は50百万円（前年同期比46百万円の増加）となりました。

なお当社グループの各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は7,955百万円となり、前連結会計年度末に比べて237百万円減少いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が464百万円増加したものの、現金及び預金が563百万円、無形固定資産が40百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,195百万円となり、前連結会計年度末に比べて439百万円減少いたしました。この主たる要因は、前受金が240百万円、仕入債務が63百万円、長期借入金が55百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,759百万円となり、前連結会計年度末に比べて201百万円増加いたしました。この主たる要因は、利益剰余金が208百万円増加したこと等によります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及適用後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年7月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年9月7日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日付で発表いたしました「平成31年7月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び平成31年7月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,525,475	962,077
受取手形及び売掛金	1,596,012	1,852,240
仕掛品	1,760,678	1,782,298
原材料及び貯蔵品	376,961	373,327
未収入金	206,044	349,338
その他	92,996	73,251
流動資産合計	5,558,168	5,392,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	411,351	398,404
土地	646,125	646,125
その他(純額)	20,788	24,331
有形固定資産合計	1,078,264	1,068,861
無形固定資産		
のれん	659,928	641,681
技術資産	594,789	578,343
その他	134,045	127,800
無形固定資産合計	1,388,763	1,347,826
投資その他の資産	167,361	145,805
固定資産合計	2,634,390	2,562,493
資産合計	8,192,559	7,955,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,937,935	1,874,909
1年内返済予定の長期借入金	111,996	111,996
未払法人税等	99,091	83,757
役員賞与引当金	18,500	-
製品保証引当金	29,674	29,791
その他	1,375,858	1,092,758
流動負債合計	3,573,056	3,193,212
固定負債		
長期借入金	634,678	578,680
株式給付引当金	8,550	13,125
退職給付に係る負債	37,779	36,671
その他	381,237	374,250
固定負債合計	1,062,244	1,002,726
負債合計	4,635,301	4,195,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	306,392	306,392
利益剰余金	3,048,007	3,256,605
自己株式	△67,206	△67,210
株主資本合計	3,538,769	3,747,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,211	15,053
為替換算調整勘定	△1,723	△3,328
その他の包括利益累計額合計	18,488	11,724
純資産合計	3,557,257	3,759,088
負債純資産合計	8,192,559	7,955,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年1月31日)
売上高	3,163,083	3,848,744
売上原価	2,441,520	2,815,916
売上総利益	721,562	1,032,828
販売費及び一般管理費	658,392	671,812
営業利益	63,170	361,015
営業外収益		
受取利息	163	129
受取配当金	375	406
受取保険金	-	2,098
為替差益	1,475	-
その他	3,781	2,661
営業外収益合計	5,796	5,295
営業外費用		
支払利息	2,958	2,860
その他	-	280
営業外費用合計	2,958	3,140
経常利益	66,007	363,170
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	66,007	363,170
法人税、住民税及び事業税	23,656	100,330
法人税等調整額	△4,207	11,105
法人税等合計	19,449	111,436
四半期純利益	46,558	251,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,558	251,734

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年1月31日)
四半期純利益	46,558	251,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,287	△5,158
為替換算調整勘定	1,910	△1,604
その他の包括利益合計	7,198	△6,763
四半期包括利益	53,756	244,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,756	244,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	包装機械	生産機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,734,429	428,654	3,163,083	—	3,163,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,776	2,776	△2,776	—
計	2,734,429	431,430	3,165,859	△2,776	3,163,083
セグメント利益	59,578	3,278	62,856	313	63,170

(注) 1 セグメント利益の調整額313千円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年8月1日 至 平成31年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	包装機械	生産機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,017,547	831,197	3,848,744	—	3,848,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,017,547	831,197	3,848,744	—	3,848,744
セグメント利益	310,580	50,134	360,715	300	361,015

(注) 1 セグメント利益の調整額300千円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。